●毎月第2・4木曜日発行 ●編集と発行 能代市市民まちづくり支援課 〒016-8501 秋田県能代市上町1-3 TEL0185-89-2147 ●印刷 ㈱大潟印刷

R100 100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

# はじめよう協働のまちづくり No.15

## 新『能代市』で さらにまちづくりの輪が広がるように

この１年間、地域の皆さんの地域活動にスポットをあて、紹介してきたこのコーナーですが、合併前の最終号である今号でひとまず区切りを迎えます。

このコーナーは、地域の皆さんの多種多様な地域活動を紹介していくことで、市内のまちづくりの輪をさらに広げていこうという趣旨で立ち上げました。市内では紹介しきれないほど住民の皆さんによる地域活動が行われていますが、この１年はその中でも特に市内で起こっている新しい地域活動の動きとして檜山地域、常盤地域、鶴形地域のまちづくり協議会の活動を中心にお伝えしてきました。これらの地域では、住民の皆さんが住み慣れた地域をじっくり見つめ直すなかから、地域にとって大切なものを探し出し、それを住民の手で守り育てていこうと汗を流しています。現在、３地域のほかに、東能代地域でもまちづくり協議会立ち上げの機運が高まっているなど、徐々にですが着実にこの動きは広がっています。

３月21日、能代市は二ツ井町と合併し、新しい能代市が誕生します。このコーナーも若干リニューアルしますが、皆さんの地域活動に光を当てるというコーナーの趣旨は変えず、今以上に多くのさまざまな活動を取り上げていきます。

さまざまな活動を通じ、失いかけた地域のつながりが再認識されています

# まちかど ウォッチング

## 思い出を胸に ～輝く未来へはばたく

３月11日㈯、東雲中学校で卒業式が行われました。

保護者や先生、後輩たちが温かい祝福をもって見守る中、卒業生一人ひとりが校長先生から受け取った卒業証書を手に式場を後にしました。

そして、学校生活を共にした友人や後輩、お世話になった先生たちとの別れを惜しみながら、思い出の詰まった学舎（まなびや）を旅立ちました。

# のーろ逍遥（しょうよう） 歴史と民俗のあいだ 89

## 「歴史と民俗」最終版

新市への移行に伴って、このシリーズもいったん閉じることになりました。長い間の御愛読を感謝致します。

前々回の芭蕉碑の文中に、能代詩星会が旧派の会であるように書いてしまいましたが、正しくは島田五空が主宰する吟社で俳星の母体（ぼたい）となった団体でした。鈴木香雪や岸部千之らは旧派の俳人でしたが、芭蕉碑を建てるにあたって、新旧両派が協力してできたのが、八幡神社の芭蕉碑でした。文学上の流派を超えた力を引き出したのは、言うまでもなく「芭蕉」という俳壇の宗匠（そうしょう）の存在があったからだと言えます。

民俗や歴史は、その中に息づく人々の心を探り出すことであり、それぞれの活躍の場で「人間愛」というものが、どのように表現されているかを見ていくことだと思います。このシリーズでも、忘れられているような物や出来事や風景を多く拾ってきたつもりです。そのなかに我々が忘れているものが潜んでいるように思ったからです。『能代市史 特別編　民俗』はそのような気持ちで編集されたものですが、なお取りこぼしたものがあるように思います。これからもその足りないところを補う努力をしていきたいと思います。皆さんもどうぞ広い目で、身の回りの民俗や歴史の数々を拾ってみてください。

（古内龍夫）

『能代市史　特別編　民俗』のなかの一頁